

市報さいたま 大宮区版

# おみやげ

7月号

面積 ● 12.75km<sup>2</sup>  
人口 ● 106,613人  
    男性 53,032人  
    女性 53,581人  
世帯 ● 45,351世帯  
※平成16年6月1日現在

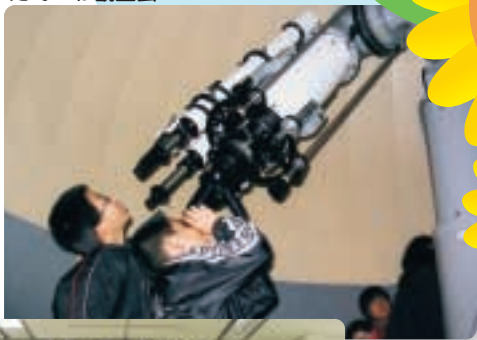
編集：大宮区役所コミュニティ課 ☎646・3020 FAX646・3161

## 日本宇宙少年団(YACヤック)さいたま支部

日本宇宙少年団は全国的な組織で、約120の分団があり、全国で約5,000人の団員が活動しています。本部団長は毛利衛さんです。さいたま支部には約80人が在籍しており、5つの分団があります。通常はこの分団に所属し、天体観測、自然観察、施設見学などの他、科学工作、コンピューターや望遠鏡の製作、インターネットによる情報交換などさまざまな活動を行っています。支部としては泊りがけの観望会、他の地域の少年団との交流会なども独自に行っています。対象は小学4年～高校3年ですが、小学1年～3年対象のヤックキッズもあります。

入団希望の問合せは…さいたま市宇宙劇場  
☎647・0011(水曜日除く)

たていわ観望会



ゲームを通し宇宙を学ぶ スペースオリンピック



# 子どもたちは元気です

まもなく夏休み。様々な施設で子どもたちを対象とした講座や催し物が始まります。この機会にいろいろ体験すると、夢中になれるものと出会えるかもしれません。熱心に活動する子どもたちの姿をいくつかご紹介します。

## ホタル委員会(市立芝川小学校)

「見沼の里にかつてのようにホタルをよみがえらせよう。」と市立芝川小学校では昭和54年から取り組み、今年で25年目になります。

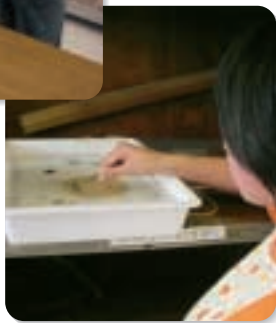
ホタル委員会の子ども達(5・6年生)は、ゲンジボタルやヘイケボタルの幼虫とそのえさとなるタニシ等の飼育をしています。また校内のホタル小屋の整備や、学校周辺の清掃活動も行っています。5月中旬に放流した幼虫が7月に羽化し、取り組みの成果として「夜のホタル観賞会」や地域の施設などで展示・公開しています。今後もホタルの飼育活動を続けて、生き物を大切にする心と自然を守る態度を広めていきたいと思っています。



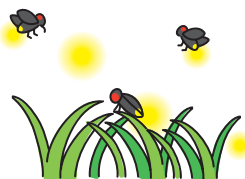
ホタル小屋  
周辺整備



エサになる  
タニシの貝殻わり



ホタルの幼虫にエサをやる



## 区民まつりに参加しませんか!

ボ | ラ | ン | テ | ィ | ア | の | お | 願 | い |

「2004大宮区民ふれあいフェア」を開催します。

皆さんのご参加で、楽しい区民交流のイベントにしたいと考えています。運営等に皆さんのご協力を、是非お願いいたします。



**日時** 平成16年11月6日(土)  
10時~15時※雨天の場合は11月7日(日)に延期

**会場** ソニックシティ展示場・イベント広場、鐘塚公園

**内容** ステージ発表、展示、模擬店、ミニ新幹線(予定)など

**募集** フェアの当日、お手伝いできる方(運営ボランティア等)…子ども向けのゲーム・イベント補助、会場案内・整理など  
※昼食は用意します。

**申込み問合せ** 電話でご連絡ください。  
「2004大宮区民ふれあいフェア」実行委員会事務局  
(大宮区コミュニティ課内) ☎646・3020

## 私たち コミュニティ会議です!!

今までに大宮区で登録された団体をご紹介します。

親子フェスティバル



こども会に  
参加しませんか!!



地区球技大会

**大成地区子ども会連絡会**  
大成公民館地区内の大成町1丁目風の子、大成町3丁目あすなろ、櫛引町1丁目青空子ども会が活動する団体です。3地区合同で子ども祭りや昔の手作り教室等があり、単子子ども会それぞれではソフトボールの練習を年間通してやっています。

**三橋地区子ども会連絡会**  
三橋1丁目・三橋2丁目つくしんぼ、三橋4丁目若草子ども会が組織され、今のところ西区三橋5丁目子ども会も一緒に活動しています。各子ども会ともソフトボール等の球技練習、夏祭り・盆踊り等多種の行事を展開しています。

区民レポーターがつくる

## みて歩いてふれあって

### 日本の中の世界・世界の中の日本 I

国際化の中、外国の人を見かけることは珍しくありません。しかし外国を理解し、「人対人」として付き合う、真の国際人として、私たちの心の受け皿はいかがでしょうか。今回日本在住の外国人3人に日本での印象などについて聞きました。



#### Q 日本に来て受けたカルチャーショックは?

- 乗り物の中で女性が立っていても男性が平気で座っている。家庭でも女性が男性に従う傾向があります。我が国では何でもレディファーストですし、男女で仕事も家事も分担します。(在住13年 フィリピン人 女性)
- 子どもに指をさされて「外人」と言われ、とてもびっくり。そして人間関係が浅く、何年も一緒に働いていても、職場の人と勤務時間外に付き合うという雰囲気がないですね。我が国なら、家族ぐるみでもっと楽しく付き合えると思う。(在住10年 ニュージーランド人 男性)
- 電車等で大人が漫画をよむ、席を譲らない、女子高校生のスカートの短さ。良い面ではデパートの店員等がとても親切。韓国では大人が漫画を手にするのは幼稚、席を譲るのは人間の道理、学生の本分は勉強が当然という感覚です。(在住11年 韓国人 女性)  
(ペンネーム ジャコ鯨)

※このインタビューは質問項目ごとに3回に分けて掲載します。

## 吉敷子供お囃子会(こども神楽)

昭和42年の埼玉国体をきっかけに、子どもたちにお囃子を教え始め、現在に至っています。現在小学生から高校生まで12人、大学生と大人9人が活動しています。随時新会員を募集していますが、なかなか増えないのが悩みの種です。練習は基本的に月1回、夏祭り前は毎週行っており、町内の稲荷神社の初午(3月)、氷川神社例大祭、塩蔵尊縁日(8月)のほか、敬老会などの町内行事や地域の行事等で活躍しています。旧大宮町(6町)のうち、現在も町内自前でお囃子を行っているのは吉敷町だけとなりました。



氷川神社 例大祭



練習風景